選出得点21点 3年ぶり5回目

4504 前田 将太 まえだ しょうた

A1・福岡・33歳

全国	6.91	芦屋	7.54

GⅠ・GⅡ優勝戦			出場点
優出	優勝	着順点	
2回	0回	13点	8点

昨年のGⅠ2優出は当地含む。GⅠ初Vの勢いに乗りSG初Vへ。

選出得点21点 2年連続2回目

4512 高野 哲史 こうの さとし

A1・兵庫・32歳

全国	6.80	芦屋	6.85

GⅠ・GⅡ優勝戦			出場点
優出	優勝	着順点	
2回	0回	14点	7点

前回大会はSG初出場で初優出。予選は大外1着もあり流れに乗る。

選出得点20点 12年ぶり3回目

3795 金子 龍介 かねこ りゅうすけ

A1・兵庫・48歳

全国	7.24	芦屋	3年間出走なし

GⅠ・GⅡ優勝戦			出場点
優出	優勝	着順点	
2回	0回	11点	9点

マスターズC優出で出場権を獲得。攻撃パターンにハマれば怖い。

選出得点19点 2年ぶり19回目

3622 山崎 智也 やまざき ともや

A1・群馬・47歳

全国	6.67	芦屋	6.71

GⅠ・GⅡ優勝戦			出場点
優出	優勝	着順点	
2回	0回	10点	9点

16年グラチャンの優勝以来遠ざかるSGファイナルの舞台を目指す。

選出得点19点 2年ぶり9回目

3978 齊藤 仁 さいとう じん

A1・東京・44歳

全国	7.09	芦屋	6.72

GⅠ・GⅡ優勝戦			出場点
優出	優勝	着順点	
1回	1回	10点	9点

7年半ぶりのGⅠ制覇で挑んだ福岡クラシックは予選突破と堅実。

選出得点18点 5年連続11回目

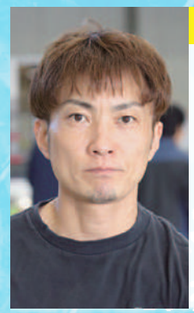
3744 徳増 秀樹 とくます ひでき

A1・静岡・46歳

全国	6.83	芦屋	7.43

GⅠ・GⅡ優勝戦			出場点
優出	優勝	着順点	
1回	0回	3点	15点

信頼感のあるイン戦にアウトでも伸び仕様で一撃と狙い目が多い。



選出得点18点 4年連続13回目

3780 魚谷 智之 うおたに ともゆき

A1・兵庫・45歳

全国	7.25	芦屋	7.50

GⅠ・GⅡ優勝戦			出場点
優出	優勝	着順点	
1回	0回	6点	12点

17年以降GⅠVないが、8年連続でGⅠ優出中と高いレベルを維持。

選出得点18点 初出場

4427 秦 英悟 はた えいご

A1・大阪・35歳

全国	7.37	芦屋	7.67

GⅠ・GⅡ優勝戦			出場点
優出	優勝	着順点	
1回	0回	9点	9点

最強大阪支部で着実に地力を強化して、SGに活躍の場を広げる。

選出得点18点 初出場

4342 谷野 錬志 やの れんし

A1・静岡・36歳

全国	6.96	芦屋	5.94

GⅠ・GⅡ優勝戦			出場点
優出	優勝	着順点	
1回	0回	9点	9点

選手生活17年目で念願のSG出場。迷いのない全速戦で挑戦する。

選出得点18点 11年ぶり6回目

3721 守田 俊介 もりた しゅんすけ

A1・滋賀・45歳

全国	7.46	芦屋	6.68

GⅠ・GⅡ優勝戦			出場点
優出	優勝	着順点	
1回	1回	10点	8点

どんな状況でも決めてくるスタート勘あり、機力の後押しあれば。

予備選手
①4075 中野 次郎（東京） ②4494 河合 佑樹（静岡）
③4908 上田 龍星（大阪） ④4052 興津 藍（徳島）
⑤4168 石野 貴之（大阪） ⑥4308 河村 了（愛知）
⑦4030 森高 一真（香川） ⑧4503 上野真之介（佐賀）

選出除外選手
4024 井口 佳典（三重）／4166 吉田 拡郎（岡山）／4296 岡崎 恭裕（福岡）
4500 山田 康二（佐賀）／4659 木下 翔太（大阪）

選手賞金 （単位：千円）

種別＼着順	1着	2着	3着	4着	5着	6着
優勝戦	33,000	12,000	8,500	7,000	6,500	6,000
特別選抜A戦	3,000	2,000	1,500	1,200	1,000	850
特別選抜B戦	2,100	1,500	1,100	800	700	600
アシ夢選抜戦	550	410	300	255	220	195
準優勝戦	550	410	300	255	220	195
ドリーム戦	550	410	300	255	220	195
予選・一般戦	210	170	130	110	100	90

●優勝戦1着賞金には、日本財団会長賞の副賞金500万円を含む。

SGオーシャンカップ 歴代優勝者

回	開催年	開催場	優勝者
第1回	1996年	住之江	野中 和夫
第2回	1997年	平和島	熊谷 直樹
第3回	1998年	三国	松井 繁
第4回	1999年	若松	田頭 実
第5回	2000年	宮島	西島 義則
第6回	2001年	尼崎	石田 政吾
第7回	2002年	若松	植木 通彦
第8回	2003年	蒲郡	辻 栄蔵
第9回	2004年	若松	田村 隆信
第10回	2005年	桐生	江口 晃生
第11回	2006年	若松	松井 繁
第12回	2007年	桐生	魚谷 智之
第13回	2008年	蒲郡	松井 繁
第14回	2009年	若松	菊地 孝平
第15回	2010年	丸亀	石野 貴之
第16回	2011年	蒲郡	佐々木康幸
第17回	2012年	尼崎	井口 佳典
第18回	2013年	若松	松井 繁
第19回	2014年	丸亀	吉田 拡郎
第20回	2015年	三国	石野 貴之
第21回	2016年	鳴門	石野 貴之
第22回	2017年	丸亀	峰 竜太
第23回	2018年	若松	毒島 誠
第24回	2019年	常滑	瓜生 正義
第25回	2020年	鳴門	峰 竜太

第26回大会 芦屋
優勝戦
2021年7月25日㊐・第12レース

「芦屋は一番練習して乗り込んできた水面。しっかり と準備をして、上位進出へ頑張りたいです」

4530 小野 生奈（福岡）

「オーシャンカップは3年ぶりの出場ですが、自分でGⅠ・GⅡポイントを稼いで出ることができる大会なので嬉しいです。初出場の時（2017年・丸亀）は準優3着だったし、好きな大会です。

今年は芦屋でGⅡレディースオールスターを優勝させてもらいましたが、正直これと言った大きな目標はなくて、目の前の一走一走をしっかり走りたいと思ってレースをしています。今までは調整面で頑固な部分がありましたが、調整の幅を広げたくて、新しいことをいろいろと試しながら走っています。そういう意味では納得できているのかな。

5月の若松オールスターで1年ぶりにSGを走らせてもらいましたが、SGではスタートにしても、レースの組み立てや駆け引きにしても、みんな凄かったです。菊地孝平さんにプロペラを教えてもらったんですが、勉強ばかりでした。

芦屋は乗りやすくてスタートがしやすいので、苦手意識は全くないです。今までで一番練習して乗り込んできた水面ですしね。思い入れは強いです。ただ、SGではそのうえで思い切ったレースをしないと準優には乗れないと思うので、しっかりと準備をして頑張りたいです」

芦屋はPGⅠレディースチャンピオン、GⅡレディースオールスターで優勝歴